

構成機関による主な取組内容について

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針」に基づく令和5年度の取組内容

○:完了 —:未実施 検討中:計画、実施予定 実施中:実施中 赤字:昨年度から変更のあった取組

取組番号	主な取組項目	目標時期
①逃げ遅れをなくすための避難行動、長期的な避難のための取組		
■避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成・活用等		
1	広域的な連携に資するタイムラインへの見直し	H28年度から順次実施
2	避難のための時間を十分に確保した避難指示を発令するためのタイムラインの検証と改善(活用訓練等の実施)	H28年度から順次実施
3	上記タイムラインの作成支援	引き続き実施
4	出水期前に協議会においてホットラインの連絡体制を確認	引き続き実施
■ハザードマップの作成・周知等		
5	県管理河川における想定最大規模の外力を対象とした洪水浸水想定区域の公表・周知 ○日野川 ○琵琶湖 ○草津川	引き続き実施
6	「地先の安全度マップ」の更新・公表・周知	引き続き実施
7	県管理区間(野洲川上流、杣川、日野川、草津川、琵琶湖)における想定最大規模の外力を対象とした氾濫シミュレーションの公表・周知	引き続き実施
8	想定最大規模の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新(避難経路の追加等)および周知	H29年度から順次実施
9	長期間に及ぶ浸水継続地域、野洲川上流や日野川等の氾濫も想定した広域的な避難計画の作成	H28年度から順次実施
10	緊急輸送道路も活用した避難経路の検討	H28年度から順次実施
11	逃げ遅れをなくすため、高齢者及び避難行動要支援者の避難計画の作成	H30年度から順次実施
12	要配慮者利用施設の避難計画作成や避難訓練等の実施状況の確認	引き続き実施
13	避難誘導マニュアルの作成	H28年度から順次実施
■防災に関する啓発活動、水害(防災)教育の充実		
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H30年度から順次実施
15	水災害に対する防災教育に関する指導計画の作成支援および協議会の関連市における全ての学校への共有	H30年度から順次実施
16	小学生等を中心とした避難経路の安全利用点検	H29年度から順次実施
17	「わが家の避難カード」の作成	H29年度から順次実施
18	上記「わが家の避難カード」「避難経路の安全利用点検」の活動支援	H29年度から順次実施
19	避難行動に資する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備、計画作成等	H28年度から順次実施
20	地域住民と連携したサイクリングによる避難経路・河川周辺の現地調査	H28年度から順次実施
21	市町村等の取組を支援する専門家のリストを作成および支援結果について協議会等の場で共有	R1年度から実施

草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
実施中	検討中	○	検討中	検討中	○	実施中			
実施中	実施中	○	実施中	実施中	○	—			
							実施中	—	実施中
実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	—	実施中	実施中	実施中	実施中
									○
									実施中
									実施中
実施中									
—	検討中	検討中	—	—	検討中	—	—	—	—
実施中	実施中	検討中	—	—	実施中	実施中	—	—	—
実施中									
実施中	—	—	実施中						
実施中	実施中	実施中	実施中	—	実施中	実施中			
実施中	実施中	実施中	実施中						
実施中	実施中	実施中	実施中	検討中	実施中	—	—		—
実施中	実施中	実施中	検討中	—	実施中	実施中			
実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中				
									—
実施中	実施中	—	実施中	—	実施中				
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
									—

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針」に基づく令和5年度の取組内容

○:完了 ー:未実施 検討中:計画、実施予定 実施中:実施中 赤字:昨年度から変更のあった取組

取組番号	主な取組項目	目標時期
■避難行動のための情報発信等		
22	避難情報を各世帯へ確実に届けるため防災行政無線等の普及(無線のデジタル化等)	H28年度から順次実施
23	避難情報を対象者へ確実に届けるためにケーブルテレビや防災メールへの登録、配信サービスやSNSの活用等	H28年度から順次実施
24	防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)	H28年度から順次実施
25	河川の防災情報を集約するためのポータルサイトの更新	引き続き実施
26	住民の避難行動を促すためブッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	引き続き実施
27	洪水予報文の改良と運用	引き続き実施
28	水害リスクラインに基づく水位予測及び洪水予報を実施および洪水の最高水位やその到達時間の情報提供など、洪水予報の高度化を推進	R1年度から実施
②確実な避難時間の確保、浸水被害軽減のための水防活動の取組		
■水防体制の強化		
29	水防団員や消防団員の募集の強化	H28年度から順次実施
30	自主防災組織の活用、強化(組織の育成や立上げサポート等)	H28年度から順次実施
31	水防技術に関する勉強会の実施	H28年度から順次実施
32	ロールプレイング方式による情報伝達訓練の実施による連絡体制の強化・確認(タイムラインの活用)	H28年度から順次実施
33	市を越えた水防訓練の検討(広域避難計画の作成後に訓練を実施予定)	H28年度から順次実施
34	防災組織の連絡が迅速かつ円滑に行えるMCA無線の整備	H28年度から順次実施
■水防活動支援のための情報公開、情報共有		
35	重要水防箇所の情報共有と関係市による共同点検(国管理区間)	引き続き実施
36	重要水防箇所について5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市による共同点検(県管理区間)	引き続き実施
37	水防資機材について、河川管理者、水防活動に関わる関係者が共同して点検を実施	引き続き実施

草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
実施中	実施中	実施中	実施中	○	実施中	実施中			
実施中									
							実施中		実施中
							ー		ー
							実施中		
							ー	実施中	ー
							実施中		
実施中									
実施中									
実施中	実施中	ー	実施中	実施中	実施中	ー			
実施中	実施中	ー	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	ー
ー	検討中	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	実施中
検討中	○	○		○					
	実施中	実施中		実施中	実施中		実施中		
実施中	実施中	ー	実施中	ー	実施中				実施中
実施中	実施中	実施中	実施中	実施中	実施中		実施中		ー

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針」に基づく令和5年度の取組内容

○:完了 —:未実施 検討中:計画、実施予定 実施中:実施中 赤字:昨年度から変更のあった取組

取組番号	主な取組項目	目標時期	草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
			■適切な土地利用の促進									
38	浸水被害軽減地区を指定する際に参考となる土地に係る情報提供	引き続き実施								—		—
39	水防管理者による浸水被害軽減地区の指定及び複数市に影響がある地区の課題共有と、連携した指定	引き続き実施	—	—	—	—	—	—	—			—
40	浸水想定区域内の市への水害リスク情報の提供	引き続き実施								—		実施中
41	不動産関連事業者に対し、水害リスク情報の提供	引き続き実施										実施中
■市庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進												
42	浸水想定区域内の市庁舎や災害拠点病院等に関する情報提供	引き続き実施								—		実施中
43	浸水想定区域内の施設管理者への情報伝達体制・方法検討	H30年度から順次実施	実施中	検討中	実施中	実施中	検討中	検討中	—			
44	市庁舎や災害拠点病院等の機能確保に関する情報と対策の実施状況の共有	H30年度から順次実施	検討中	実施中	実施中	—	実施中	実施中	—			
■樋門や水門等の無動力化等の推進・確実な施設の運用体制確保												
45	河川管理者が設置している樋門について、無動力化や新たな操作委託先について検討	H30年度から順次実施								—		
■河川水位等に係る情報の提供												
46	中小河川における簡易な方法も活用した河川水位等の情報提供	H30年度から順次実施										実施中
47	危険性の高い中小河川における避難判断の目安の検討	H30年度から順次実施	実施中									—
③生活再建、社会経済活動を一刻も早く回復させるための復旧活動の取組												
■排水活動及び施設運用に関する取組												
48	河川情報等の迅速な状況把握と関係機関への情報提供と共有	引き続き実施								—		—
49	野洲川(国管理区間)において緊急時に迅速かつ確実な対応を行うため大規模災害を想定した排水ポンプ車の最適配置計画の作成	引き続き実施								○		
50	基地被災時を想定した衛星通信車や対策本部車を利用した訓練の実施	引き続き実施	—	—	—	—	—	—	—	—		—
51	浸水する緊急輸送道路の代替ルートの検討	H28年度から順次実施								—		—
52	浸水が4週間以上に及ぶ沿岸地域の早期復旧に資する資機材の広域的な輸送計画の作成	H28年度から順次実施	—	検討中	検討中	—	—	—	—	—		—
53	広域的に資材を運用するための調整の実施	H28年度から順次実施	—	検討中	検討中	—	—	—	—	—		—

「野洲川および甲賀・湖南圏域の取組方針」に基づく令和5年度の取組内容

○:完了 —:未実施 検討中:計画、実施予定 実施中:実施中 赤字:昨年度から変更のあった取組

取組番号	主な取組項目	目標時期
ハード対策		
■洪水を河川内で安全に流す対策		
54	野洲市南桜地区等の堤防強化	引き続き実施
55	「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)」に基づく県管理河川の改修および堤防強化	引き続き実施
■危機管理型ハード対策		
56	堤防裏法尻の補強	引き続き実施
■河川区域等の管理		
57	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	引き続き実施
58	「南部土木事務所管内維持管理計画」、「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理を実施	引き続き実施
■避難行動、水防活動、復旧活動に資する基盤等の整備		
59	早期に氾濫が発生する地域等における洪水時の避難指示等の発令判断に活用するため簡易水位計・量水標を設置し情報共有	引き続き実施
60	水防団等の水防活動を支援するためCCTVカメラを設置し情報共有(配置計画の検討・見直し)	引き続き実施
61	危機管理型水位計配置計画に基づいて順次整備	引き続き実施
62	水防活動や応急復旧活動に資する水防拠点整備	引き続き実施

草津市	守山市	栗東市	甲賀市	野洲市	湖南市	近江八幡市	近畿地整	気象台	滋賀県
							○		
									実施中
							○		
							実施中		実施中
									実施中
							—		実施中
							—		実施中
							○		実施中
							実施中		

令和6年度ホットライン説明資料

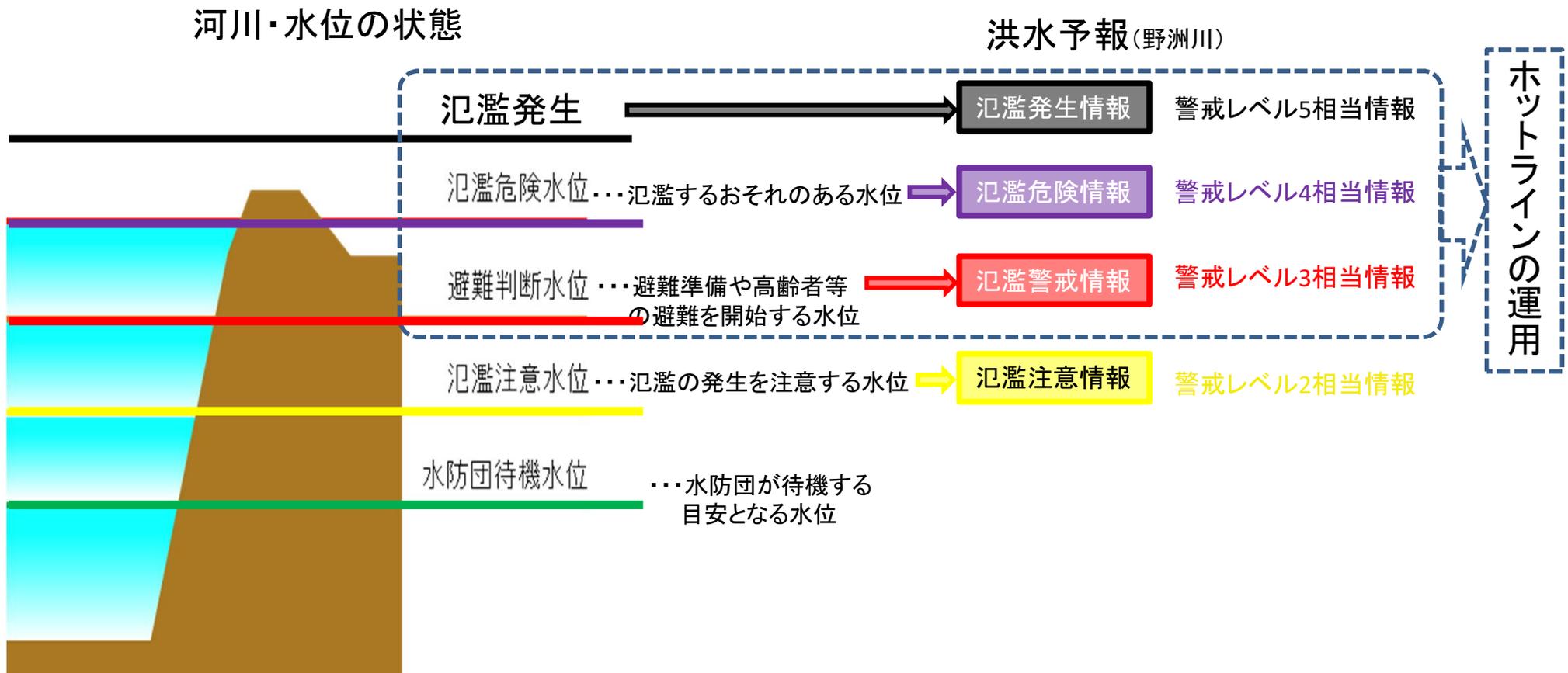
野洲川および甲賀・湖南圏域版

<取組番号4,(5),26>

注) () は取組方針更新案の取組番号

洪水予報河川・水位周知河川について

洪水予報河川: 野洲川下流(野洲観測所【国】)、野洲川上流(横田橋・水口橋観測所【県】)
^{そま} 杣川(北杣橋観測所【県】) 日野川(桐原橋・安吉橋観測所【県】)
水位周知河川: 草津川(西矢倉観測所【県】)



水位観測局位置図(野洲川および甲賀・湖南圏域)

- 避難の基準水位は複数の観測所で設定されています。

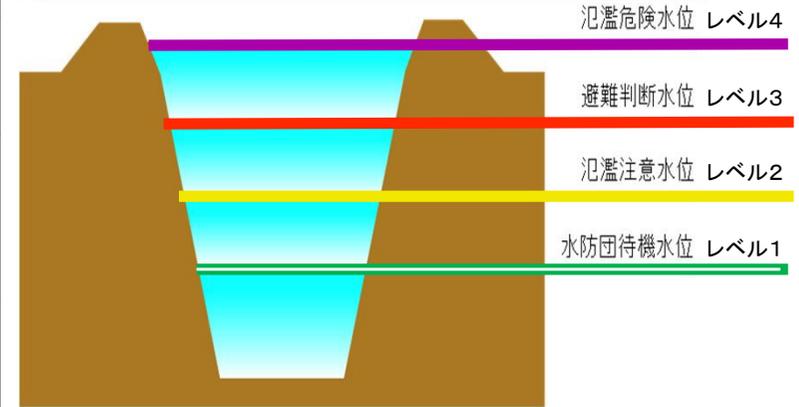


ホットラインの具体的な運用

<取組番号4>

ホットラインの主な内容

- ◆ 現状到達水位、予想到達水位情報
- ◆ その時点で判明している河川の損壊箇所や浸水発生等の情報



河川管理者(国・県)	市町		
水位・情報	双方向のホットライン		発令等
氾濫危険水位 (レベル4水位)	琵琶湖河川 事務所長 土木事務所長	市長 (副市長・部長)	避難指示
避難判断水位 (レベル3水位)	琵琶湖河川 事務所長 土木事務所 河川砂防課長	防災担当 課長	高齢者等避難
氾濫注意水位 (レベル2水位)			消防団が出動
水防団待機水位 (レベル1水位)			消防団が待機

水位の名称	発表される避難 情報(目安)	野洲川下流	野洲川上流		杣川	日野川		草津川
		野洲	横田橋	水口橋	北杣橋	桐原橋	安吉橋	西矢倉
氾濫危険水位 (レベル4水位)	避難指示	4.80	3.90	1.45	4.00	5.10	4.10	4.30
避難判断水位 (レベル3水位)	高齢者等避難	4.30	3.50	1.20	3.50	3.80	3.40	3.40
氾濫注意水位 (レベル2水位)	消防団が出動	3.50	2.50	1.00	3.00	3.00	2.70	3.10
水防団待機水位 (レベル1水位)	消防団が待機	2.50	1.50	0.65	2.00	1.80	1.80	2.30
避難判断水位から氾濫するまでの想定時間*)		2時間	4時間	3時間	3時間	2.8時間	2時間	4.5時間

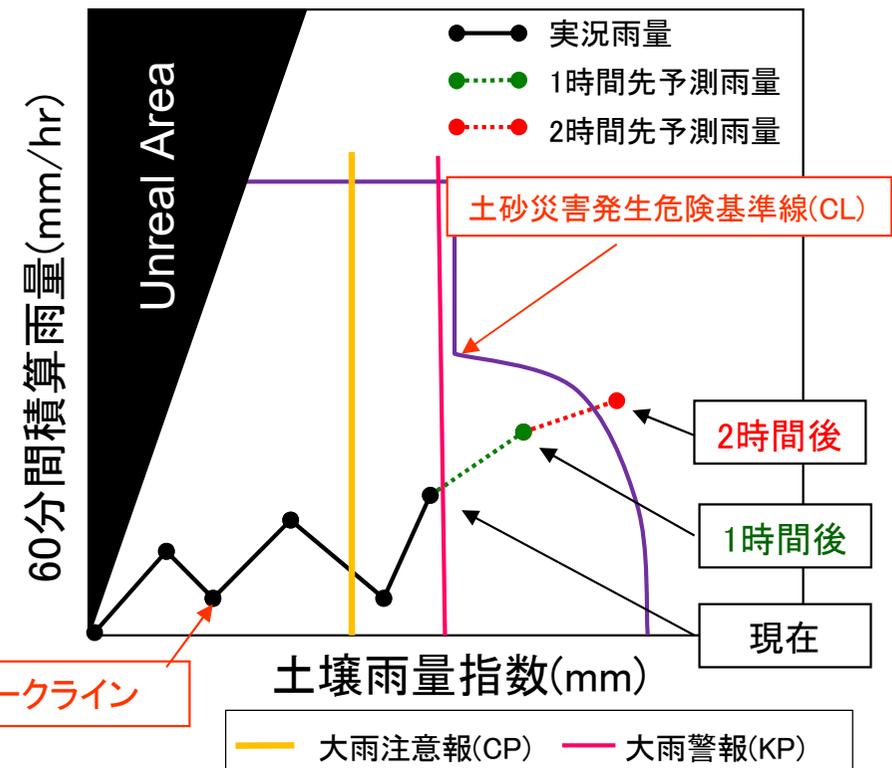
*) 計算値であり、洪水によっては前後するごともあります。

土砂災害に関するホットライン

県	市	
情報	双方向のホットライン	発令等
土砂災害警戒情報の発表 〔警戒レベル4相当情報〕	砂防室長 (砂防室員)	防災部局 (※1)
		避難指示

※1 各市から報告のあった連絡先

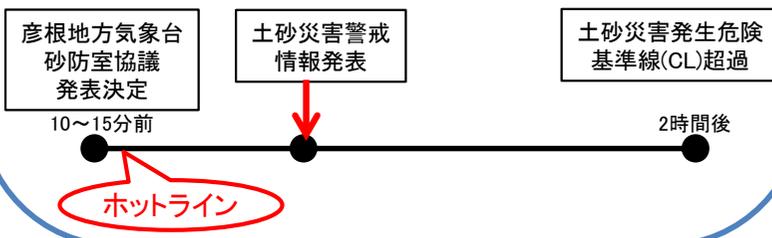
○ 土砂災害降雨判定図



ホットラインの主な内容

- ◆彦根地方気象台と砂防室が協議し、土砂災害警戒情報の発表が決定した時(正式発表の約10分前)
- ◆発表が決定した時点で、砂防室から該当する市のホットライン連絡先に、土砂災害警戒情報の発表について事前に電話連絡する。

※2時間後の予測雨量が土砂災害発生危険基準線(CL)を超過する場合、**土砂災害警戒情報を発表**



ホットライン・緊急速報メールの配信のタイミング <取組番号4・26>

● 緊急速報メールの配信

河川名	基準観測所 (位置)	配信対象市町村
瀬田川	関ノ津 (大津市)	大津市
	鳥居川 (大津市)	
野洲川	野洲 (野洲市)	近江八幡市、草津市、 守山市、栗東市、 野洲市、湖南市

緊急速報メール配信
④ 氾濫のおそれ
⑤ 氾濫発生



(件名)
氾濫のおそれ

(本文)
警戒レベル4相当

野洲川で氾濫のおそれ

野洲(野洲市)付近で河川の水位が上昇、
氾濫が発生する危険があります

自治体からの情報を確認し、安全確保を
図るなど速やかに適切な防災行動をとっ
てください。今後、氾濫が発生すると、避
難が困難になります

(国土交通省)

プッシュ型配信
配信内容【見本】

● 河川水位と洪水予報など



※ 水防警報は、野洲川では野洲観測所の水位を発令の基準にしています。

「水防災意識社会 再構築ビジョン」に基づく取組 ～緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信～



○国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信を実施。
 ○瀬田川・野洲川では、平成29年5月1日から氾濫危険情報(レベル4)及び氾濫発生情報(レベル5)の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するための情報を配信。

レベル4	レベル5破堤	レベル5越水
<p>(件名) 氾濫のおそれ</p> <p>(本文) 警戒レベル4相当</p> <p>野洲川で氾濫のおそれ</p> <p>野洲(野洲市)付近で河川の水位が上昇、氾濫が発生する危険があります</p> <p>自治体からの情報を確認し、安全確保を図るなど速やかに適切な防災行動をとってください。今後、氾濫が発生すると、避難が困難になります</p> <p>(国土交通省)</p>	<p>(件名) 氾濫発生</p> <p>(本文) 警戒レベル5相当</p> <p>野洲川で氾濫が発生</p> <p>●●市●●地先(●●側)で堤防が壊れ、河川の水が住宅地などに押し寄せています</p> <p>命を守るための適切な防災行動をとってください</p> <p>(国土交通省)</p>	<p>(件名) 氾濫発生</p> <p>(本文) 警戒レベル5相当</p> <p>野洲川で氾濫が発生</p> <p>●●市●●地先(●●側)付近で河川の水が堤防を越えて住宅地などに押し寄せています</p> <p>命を守るための適切な防災行動をとってください</p> <p>(国土交通省)</p>

No.	取組項目	目標時期	取組機関
3 26	・上記タイムラインの作成支援 ・住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	引き続き実施	琵琶湖河川事務所

取組の経過

- 令和3年10月に国土交通省防災業務計画の変更に伴い、避難情報の発令に着目したタイムラインから流域タイムラインに見直しがされた。
- 令和5年地域安全協議会で、野洲川流域水防災タイムライン(R5年度版)を作成
- 令和5年10～11月に意見聴取のヒアリングを実施
- 令和6年5月の地域安全協議会で修正案を提示する。

実施状況

野洲川流域水防災タイムライン(令和5年度版)【ステージ0】

令和5年5月予定

ステージ(準備)

No.	防災業務 実施年度	防災業務 実施内容	実施 年度	実施 月	実施 日	実施 場所	実施 担当者	実施 状況	備考
1	令和5	タイムラインの作成支援	○	5	15	琵琶湖河川事務所	〇		
2	令和5	住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	○	5	15	琵琶湖河川事務所	〇		

ステージ(準備) タイムラインの立ち上げ (R5年度版が作成された日付を記入)

No.	防災業務 実施年度	防災業務 実施内容	実施 年度	実施 月	実施 日	実施 場所	実施 担当者	実施 状況	備考
3	令和5	タイムラインの作成支援	○	10	15	琵琶湖河川事務所	〇		
4	令和5	住民の避難行動を促すためプッシュ型の洪水予報等の情報発信のための整備	○	10	15	琵琶湖河川事務所	〇		

琵琶湖河川事務所と地元団体で共同開催した『水辺の匠』において、水防災の取り組みの一環として「しがマイ・タイムライン」の普及・啓発を目的とした、作成体験会を滋賀県と共同で地域住民向けに実施。



令和5年7月23日実施

琵琶湖河川事務所が、野洲市役所・滋賀県庁・滋賀県防災士の協力のもと、気象キャスターを講師に招き、野洲川沿川にお住いの市民を対象に、『マイ・タイムライン作成講座』を実施。



令和6年1月13日実施



No.	取組項目	目標時期	取組機関
24	防災対策や住民の避難行動の判断をより分かりやすくするため水位計やCCTVカメラの情報を提供(配信)	H28年度から 順次実施	琵琶湖河川事務所

取組の経過

- 危機管理や住民の避難行動にかかるリアルタイムの水位情報の重要性を踏まえ、河川管理者や住民がスマートフォン、タブレット、PC等を用いて、簡単に閲覧できるシステムの開発・運用を実施。
- 河川水位計、危機管理型水位計、河川カメラによる情報の提供を継続して実施する。

実施状況



国土交通省
川の防災情報

滋賀県守山市

2022/02/22 05:36

観測所検索 操作説明

観測所情報

野洲水位流量観測所 淀川水系 野洲川

観測詳細

現在 平常時

野洲川 左岸 8.0kp

滋賀県野洲市野洲 野洲水位流量観測所

パソコン兼スマートフォン: <https://www.river.go.jp/>



簡易カメラ(野洲川6.8k左岸)



No.	取組項目	目標時期	取組機関
35 37	<ul style="list-style-type: none"> ・重要水防箇所について5ヶ年点検計画を作成し、河川管理者と関係市による共同点検(県管理区間) ・水防資機材について、河川管理者、水防活動に関わる関係者が共同して点検を実施 	引き続き実施	琵琶湖河川事務所

取組の経過

■野洲川地域安全協議会での取組方針に基づき、野洲川沿川自治体の水防関係者と共に重要水防箇所の共同点検を実施。

■野洲川の北流・南流側帯に保管する備蓄資材や土砂等、今年度実施予定の堤防強化工事箇所、危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラの運用状況について確認し、情報共有を図った。

実施状況

野洲川位置図



2 野洲市市三宅地先



北流側帯における水防活動備蓄資材(根固めブロック等)について説明・確認

5 守山市川田町地先



危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの設置位置や運用状況について説明・確認

No.	取組項目	目標時期	取組機関
57	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	引き続き実施	琵琶湖河川事務所

取組の経過

- 近年の災害の頻発・激甚化を受け、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が全国的に進められている。
- 対策の1つとして野洲川における河川内の樹木伐採及び河道内堆積土砂撤去を実施してきている。
- 令和5年度は、樹木による洪水時の流れの阻害を抑制するため、幼木の踏み倒し及び、堤防の浸食対策として河道内の堆積土砂除去を実施した。

実施状況

野洲川位置図



河道内堆積土砂撤去状況



幼木の踏み倒し状況



No.	取組項目	目標時期	取組機関
62	水防活動や応急復旧活動に資する水防拠点整備	引き続き実施	琵琶湖河川事務所

取組の経過

- 野洲川北流側帯において、水防活動や物資輸送等の拠点となるヘリポートなどを備えたMIZUBEステーションの整備を計画した。
- 自治体(野洲市)と連携してMIZUBEステーションの整備について検討し、調整・実施することとなっている。
- 基盤整備を河川管理者が実施し、水防活動を実施するための水防センター等の施設は自治体等が整備する予定。

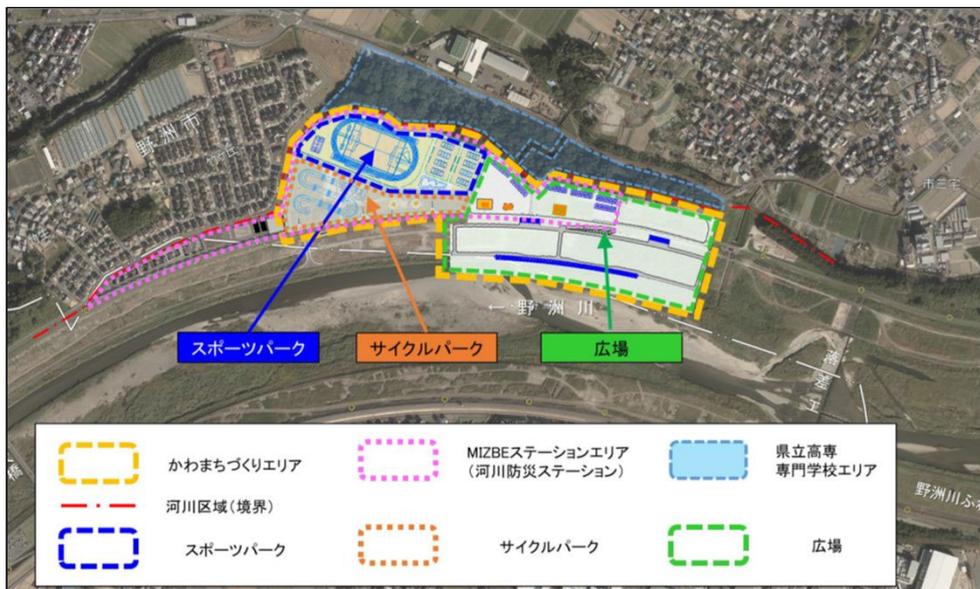
実施状況

概要・必要性・目的

野洲川が位置する淀川水系では、洪水時における円滑で効果的な水防活動や災害時の緊急復旧活動等を実施・支援する防災拠点・搬入路等の整備も十分でないことが課題となっている。このため、淀川水系整備計画では、広域的な活用が可能な水防拠点やMIZUBEステーションの整備促進を図ることを計画している。

現在、協議会の場等を活用して、河川防災ステーションの整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調整をしている。

配置計画・平常時利活用



No.	取組項目	目標時期	取組機関
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H30年度から順次実施	滋賀県流域政策局 流域治水政策室

取組の経過

令和5年9月6日 野洲市立中主小学校(全校生徒) 避難訓練(水害対応)

実施状況

野洲市立中主小学校(R5.9.6)



注) () は取組方針更新案の取組番号

No.	取組項目	目標時期	取組機関				
(78)	・既存ダム有効活用の検討を行う ➤運用面での治水効果向上	令和6年度	滋賀県流域政策局 水源地域対策室				
取組の経過							
<p>治水の計画規模や河川(河道)・ダム等の施設能力を上回る洪水の発生時におけるダム下流河川の沿川における洪水被害の防止・軽減を図るため、令和2年5月29日に「淀川水系治水協定」を締結し、ダムの事前放流の運用を開始しています。</p> <p>事前放流の効果をより高めるよう、青土ダムの下流河川断面等を考慮し、基準降雨量の見直しを行いましたので、青土ダム・野洲川ダムの関係機関の同意を得たうえで、他ダムと合わせてR6年度淀川水系ダム洪水調節協議会に諮っているところです。</p> <p>また、滋賀県土木防災情報システムに「ダム流入予測機能」を追加し、ダムへの流入量を予測することでより、ダム運用の精度向上を図るとともに、事前放流実施等のダム放流通知を掲示し、住民へダム運用状況を周知する。令和4年度構築完了、令和5年度出水期から運用開始しています。</p> <p>各市町さんへのダム放流通知の確認は、従前からの河川洪水予報や土砂災害警戒情報と同様にシステムによる伝達および確認になります。</p>							
実施状況							
対象ダム名	事前放流			期別貯水位の設定		【参考】 既存洪水 調節容量 (万m ³)	
	基準降雨量(mm/24h)		洪水調節 可能容量 (万m ³)	洪水調節 可能容量 (万m ³)	期 間		
	当初	変更案					
土 木	余呉湖	251	165	440	—	—	200
	日野川	592	377	30	—	—	92
	石田川	285	260	127	—	—	187
	宇曾川	545	512	25	—	—	235
	青 土	654	538	250	—	—	410
	姉 川	815	431	180	—	—	470
農 水	犬上川	385	—	72.5	—	—	—
	野洲川	654	538	52	656	9/18~10/15	—
	永源寺	502	—	50	747	9/1~10/15	—
	蔵 王	592	377	3.5	213	9/5~10/15	—

No.	取組項目	目標時期	取組機関
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H30年度から 順次実施	滋賀県流域政策局 砂防室

取組の経過

土砂災害防止に係る啓発活動の一環として、依頼を受けた小中学校や自治会に向き、砂防出前講座と称し、土砂災害に関する知識や対策についての講座を実施している。

令和5年度は甲賀市立希望ヶ丘小学校、甲南第三小学校、佐山小学校で講座を実施した。

今後も継続的に出前講座を実施すると共に、積極的に利用いただけるよう周知活動を行う。

実施状況

実施風景



チラシ

さぼう 出前講座 滋賀県砂防課

さぼう出前講座
県内には、土砂災害が発生するおそれのあるところが、約6,800箇所あります。土砂災害から命を守るためには、県民のみならず一人ひとりが、地域の安全に取組むことが大切です。
この講座では、当課の職員が出向いて土砂災害の特徴や土砂災害から命を守るために大切なことなどについて、わかりやすくお話しします。

講座の内容

- ◎ 土砂災害とはどんな災害？
 - ・ 土砂災害の種類や発生は？
 - ・ 土砂災害の発生状況は？
- ◎ 土砂災害から命を守るために必要なことは？
 - ・ 危ない場所はどこ？
 - ・ 危ないときはいつ？

講座の対象者

- ◎ 小学生、中学生、高校生および教員のみならず
- ◎ 観光業者や市民団体の活動のみなさま（団体施設、宿舎など）
- ◎ 市町議員のみならず
- ◎ 市民の一部のみならず（自主防災組織、自治会、老人会など）

講座の様子

申込について
出前講座の依頼を希望される場合は、**1か月前まで**に、日程調整や講座の内容について、下記へご相談下さい。
滋賀県土木交通課砂防課（担当係：土砂災害防止係）
大津市南畑4丁目1-1
TEL：077-528-4193 FAX：077-528-4507 メール：ha07@pref.shiga.lg.jp

注) () は取組方針更新案の取組番号

No.	取組項目	目標時期	取組機関
(12)	土砂災害防止法に基づく基礎調査を実施	引き続き実施	滋賀県流域政策局 砂防室

取組の経過

平成13年に制定された「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)」に基づき、県では平成15年度から、土砂災害のおそれのある箇所を調査し、土砂災害警戒区域・特別警戒区域として指定を行っている。

令和元年度に県内全域の調査が完了し、令和3年度に一通り県内全域の区域指定が完了した。(1巡目基礎調査)

指定済み区域については、地形改変状況や、土砂災害対策設備の整備状況等をふまえ、おおむね5年毎に区域の見直し調査を行うものとされており、現在この見直し調査を実施中(2巡目基礎調査)。

また、近年の測量技術の向上により、詳細な地形データの取得が可能となったことから、2巡目基礎調査に併せ、詳細な地形データを用いた土砂災害のおそれのある箇所の抽出を行っている。

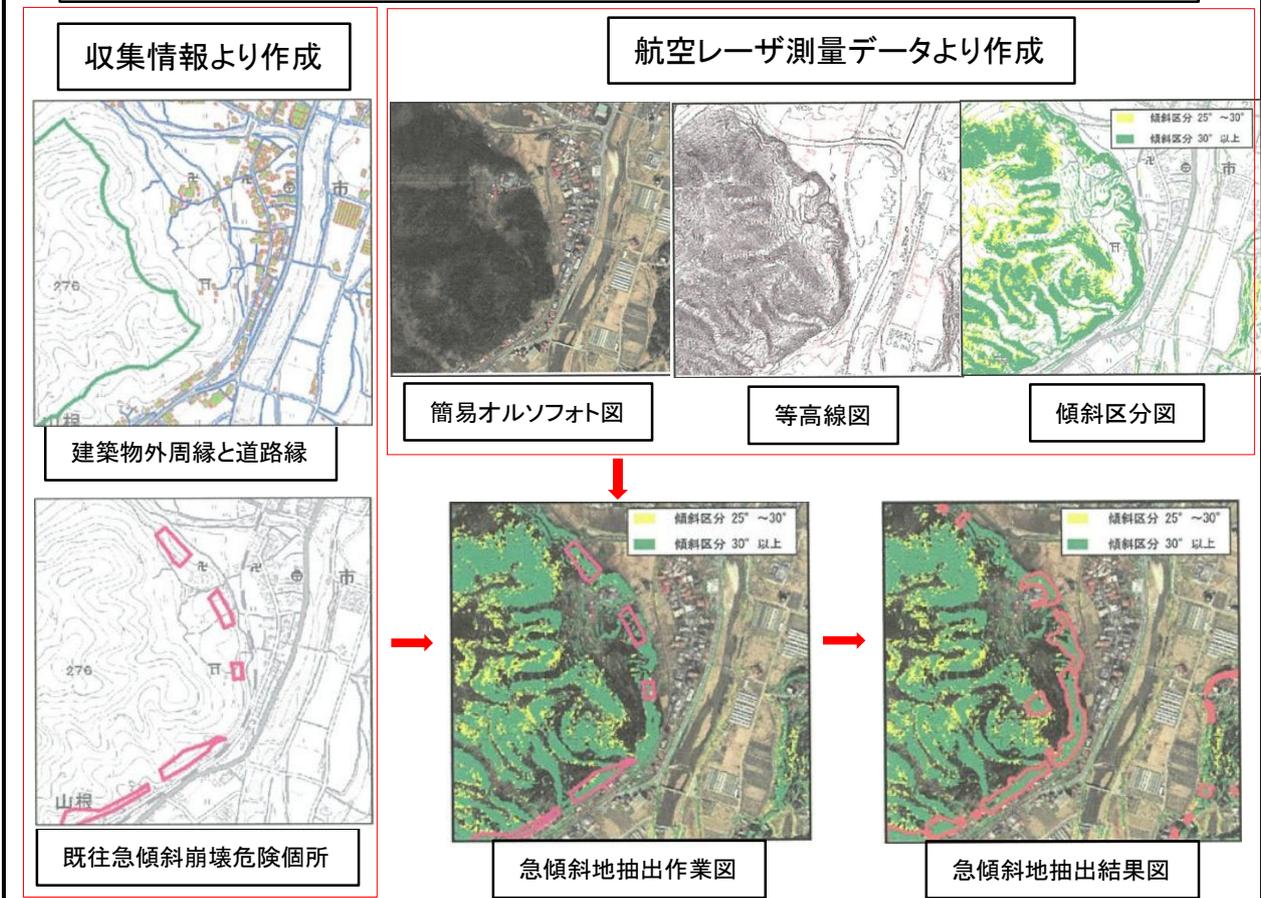
甲賀土木事務所管内では令和3年度に、南部土木事務所管内では令和4年度に航空レーザ測量により詳細な地形データを取得し、令和4~5年度に土砂災害のおそれのある箇所の抽出、見直し調査が必要な区域の抽出を行った。

現在甲賀土木事務所では、抽出箇所の基礎調査を実施しており、南部土木事務所でも令和6年度から基礎調査に着手する予定。

調査が完了した箇所については、順次区域の指定を進める。

実施状況

航空レーザ測量データを活用した急傾斜地の抽出(1mDEM 利用)



No.	取組項目	目標時期	取組機関
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	H30年度から 順次実施	滋賀県 防災危機管理局

取組の経過

- 令和3年12月 しがマイ・タイムライン作成、出前講座の実施
 - 日本防災士会滋賀県支部に、マイ・タイムラインの普及啓発および、しがマイ・タイムライン作成講座を委託。学校や自治会、地域の自主防災組織および教職員などが受講された。
- 野洲川地域安全協議会 対象市においては、6小中学校(高穂中学校、伴谷東小学校、老蘇小学校、朝宮小学校、甲南中部小学校、佐山小学校)、5自治会等、計11講座を開催。

実施状況



@草津市立高穂中学校 (R5. 9. 21)



@近江八幡市立老蘇小学校 (R5. 10. 23)



No.	取組項目	目標時期	取組機関
36	重要水防箇所について5か年点検計画を作成し、河川管理者と関係市による共同点検(県管理区間)	継続実施	滋賀県 (甲賀土木事務所)

取組の経過

H30.05.23 第1回共同点検実施
R02.03.03 第2回共同点検実施
R03.02.25 第3回共同点検実施
R04.01.18 第4回共同点検実施
R05.02.16 第5回共同点検実施
R05.12.11 第6回共同点検実施

実施状況



No.	取組項目	目標時期	取組機関
55	「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)」に基づく県管理河川の改修および堤防強化	継続実施	滋賀県 (甲賀土木事務所)

取組の経過

令和2年度～ : 河川整備計画に基づく広域河川改修事業に着手
 令和5年度 : 引き続き河川改修を実施

実施状況

整備前



整備後



No.	取組項目	目標時期	取組機関
57	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	継続実施	滋賀県 (甲賀土木事務所)

取組の経過

令和5年度 : 河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去を実施

実施状況

土砂撤去 前



土砂撤去 後



No.	取組項目	目標時期	取組機関
58	「甲賀土木事務所管内維持管理計画」に基づく維持管理を実施	引き続き実施	滋賀県 (甲賀土木事務所)

取組の経過

H30年度～：維持管理計画に基づく樹木伐採に着手
R05年度：河川内の樹木伐採を実施

実施状況

伐採前



伐採後



No.	取組項目	目標時期	取組機関
55	「滋賀県河川整備5ヶ年計画(平成31年3月)に基づく県管理河川の改修および堤防強化」	引き続き実施	滋賀県 (南部土木事務所)

取組の経過

甲賀・湖南圏域河川整備計画に基づき、葉山川、山賀川(新守山川)、金勝川、北川等において河川改修を実施

実施状況

河川改修

●金勝川:栗東市川辺ほか



●山賀川(新守山川):守山市三宅町ほか



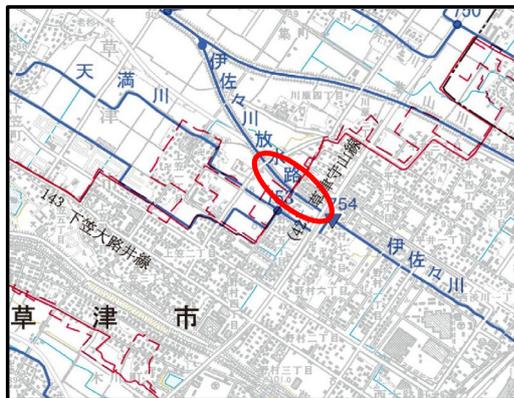
No.	取組項目	目標時期	取組機関
57	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	引き続き実施	滋賀県 (南部土木事務所)

取組の経過

甲賀・湖南圏域河川整備計画に基づき、伊佐々川放水路等において河道内樹木の伐採を実施

実施状況

河道内樹木の伐採
(伊佐々川放水路:草津市川原二丁目)



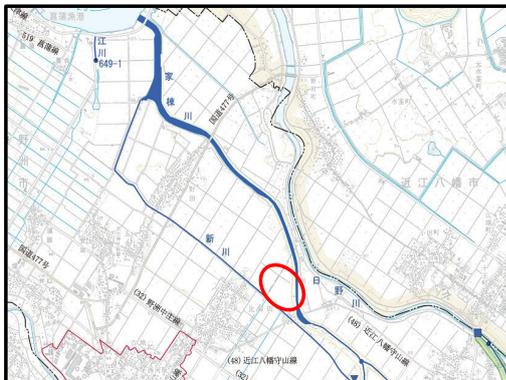
No.	取組項目	目標時期	取組機関
57	河道内樹木の伐採や河道内堆積土砂の除去等	引き続き実施	滋賀県 (南部土木事務所)

取組の経過

甲賀・湖南圏域河川整備計画に基づき、家棟川等において河道内堆積土砂の除去を実施

実施状況

河道内堆積土砂の除去
(家棟川:野洲市比留田)



No.	取組項目	目標時期	取組機関
31	水防技術に関する勉強会の実施	R5実施	草津市
取組の経過			
<p>令和5年4月 各団体へ参加依頼および地元へ開催通知 令和5年6月 水防訓練実施</p>			
実施状況			
<p>(実施概要) 水害の未然防止と軽減を図り、市民生活の安全を確保するため、関係機関が発生した水害の事態に的確に対応できる水防技術、知識の習得に向けて、水防工法による実施訓練を行うものであります。参加団体は草津市消防団員、湖南広域消防局西消防署員・南消防署員、NPO法人草津の未来を建設する市内業者会ならびに草津市職員です。</p> <p>(令和5年6月4日 草津市水防訓練) 草津川防災ステーション防災広場にて総勢約230名が参加し、土のう作り、積土のう工の実施訓練を行いました。訓練にて作成した土のうについては、水害時に使用できるよう防災広場にて保管しています。</p>			
			

No.	取組項目	目標時期	取組機関
31	水防技術に関する勉強会の実施	毎年度、出水期前に実施	守山市消防団 消防署 守山市

取組の経過

- ・令和5年度、「消防団の力向上モデル事業」に取り組み、水害救助資機材(救命ボート、水中ポンプ、ドローン等)を整備。
- ・あわせて、プールを利用して、水害を想定した水難救助訓練等を実施。
- ・今後も継続した訓練とすることを、消防団、消防署、市において確認。

実施状況



資機材取扱訓練【救命ボート】



資機材取扱訓練【ドローン】



資機材取扱訓練【水中ポンプ】



水害救助訓練

No.	取組項目	目標時期	取組機関
	栗東市地域防災計画の改訂	令和6年度	栗東市
取組の経過			
<p>令和2年3月に作成した栗東市地域防災計画について改訂を行う。また、市内小学校区単位で作成いただいている地区防災計画を地域防災計画への反映について、防災会議にて審議いたします。</p>			
実施状況			
<p>令和6年4月から 栗東市地域防災計画改訂に着手</p> <p style="padding-left: 40px;">庁内検討委員会(2～3回)</p> <p style="padding-left: 40px;">防災会議を開催(2～3回)</p> <p style="padding-left: 40px;">パブリックコメント</p> <p style="padding-left: 40px;">議会報告</p> <p>令和7年3月 栗東市地域防災計画改訂完了</p>			

No.	取組項目	目標時期	取組機関
8	想定最大規模洪水の洪水浸水想定区域を考慮したハザードマップの更新(避難経路の追加等)および周知	H29年度から順次実施	甲賀市

取組の経過

令和3年度に作成した「防災マップ」を用い、市の防災出前講座や防災士による「逃げ遅れ0作戦ネクスト」の啓発を実施した。

実施状況

(R6/3/15現在)

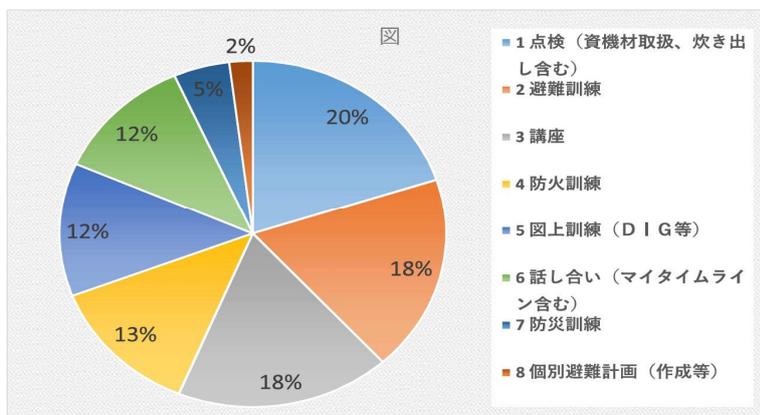
番号	実施事業項目	実施した数
1	点検(資機材取扱、炊き出し含む)	51
2	避難訓練	47
3	講座	46
4	防火訓練	33
5	図上訓練(D I G等)	32
6	話し合い(マイタイムライン含む)	30
7	防災訓練	12
8	個別避難計画(作成等)	5

	区	自治振興会
実施	101	18
全体	202	25
%	50.0%	72.0%

(参考：昨年度)

	区	自治振興会
実施	71	7
全体	203	23
%	35.0%	30.4%

※1つの区、自治振興会で複数の事業を回答されたところもあるので地域数とは一致しない。



No.	取組項目	目標時期	取組機関
31	令和5年度消防団基本技能向上訓練	令和5年度	野洲市消防団 湖南広域消防局東消防署 野洲市

取組の経過

令和2年度 手漕ぎ用ゴムボート3艇を配備し、陸上での取り扱い訓練を実施。
令和4年度 琵琶湖での水害対応訓練、水難救助資機材取り扱い訓練を実施。

実施状況

集中豪雨等による水害が懸念される出水期を迎えるにあたり、ボート取扱い及び漕艇訓練等を実施することにより、静水域から避難困難者を救出するための基本的な知識と漕艇技術の習得を目的に開催した。

1 日時

令和5年6月24日(土)9:00から11:00

2 場所

野洲市菖蒲地先 中主B&G海洋センター艇庫付近

3 当日参加者

東消防署職員、野洲市消防団:計31名



ボート組立訓練



漕艇訓練

No.	取組項目	目標時期	取組機関
19	避難行動に資する「まるごとまちごとハザードマップ」の整備、計画作成等	令和元年度から令和5年度まで	湖南省

取組の経過

- ・令和元年度 N=100枚(三雲、妙感寺、吉永、夏見、針地区)
- ・令和2年度 N=160枚(針、平松、柑子袋、石部地区)
- ・令和3年度 N=100枚(菩提寺、岩根地区)
- ・令和4年度 N=100枚(菩提寺、岩根地区)
- ・令和5年度 N=100枚(中央、下田、水戸、石部、菩提寺地区)

実施状況

・想定浸水深表示板設置（見える化）事業



・近年全国各地で多発している集中豪雨や台風等の風水害による被害状況を考慮して、湖南省における野洲川上流・柚川 洪水浸水想定区域図（想定最大規模）および地先の安全度マップ 最大浸水深図（200年確率）による想定浸水深の市民への周知、風水害発生時における市民の主体的な避難行動の促進等を図るため、「想定浸水深表示板」を設置し、見えない想定浸水深を見える化することにより住民自らが日常生活の中で想定浸水深を実感することで、防災・減災意識の向上を図る。



No.	取組項目	目標時期	取組機関
14	防災に関する補助教材を活用した小中学校と連携した防災に関する出前講座の取組み	平成26年度から 順次実施	近江八幡市

取組の経過

子ども防災塾事業委託として、市内コミュニティセンターへ委託。

- | | | | |
|--------------|------|---------------------------------|----------|
| ・平成26年度 | 馬淵学区 | ・令和 3年度 | 沖島学区 |
| ・平成27年度 | 島 学区 | ・令和 4年度 | 八幡学区 |
| ・平成28年度 | 老蘇学区 | ・令和 5年度 | 北里学区 |
| ・平成29年度 | 桐原学区 | ・令和 6年度 | 安土学区（予定） |
| ・平成30年度 | 金田学区 | | |
| ・平成31(令和元)年度 | 岡山学区 | 子ども防災塾事業は令和6年度で全学区を一巡するため事業終了予定 | |
| ・令和 2年度 | 武佐学区 | | |

実施状況

東日本大震災や熊本地震など、これまでの災害の教訓により、災害時に子どもたちが自分で考え、行動できるように防災意識を形成することは重要であり、子どもたちが災害に対する備えや知識を習得することは、子どもたち自身で自分の身を守ることにつながることから、「子ども防災塾」では、子どもたちにとって貴重な体験となるよう、大人に頼れない状況にあっても、子どもたちが「自分の命は自分で守る」という気持ちを持つきっかけとしてくれること、また将来、防災リーダーとして地域で活躍してくれることを目的に実施しています。

- ・2023年10月22日（日）北里学区 子ども防災塾
参加者19名
ハイゼックスによる炊き出し訓練
防災についての講話
避難所設営体験・新聞スリッパ作り
応急手当、搬送体験
心肺蘇生、AED体験
エアートントの体験、防災グッズの説明

北里学区「子ども防災塾」開催
募集中!

- 開校式
- 防災講話
- セウゼックス炊き出し訓練
- エアートント体験、テント・簡易トイレ設置、新聞スリッパ作り、応急手当、AED体験
- 避難所設営体験
- 心肺蘇生・AED体験
- 防災グッズ説明・防災グッズ作り
- 防災講話
- 閉校式

日時：10月22日（日）10時～14時30分
場所：北里小学校体育館および正面玄関周辺
対象：小学生～6年生 ※午前中のみ参加OK



